日本の学校第工業大学 2020年度グローバルPBLオンライン実施報告					
電カシステム制御トレーニング					
実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年10月15日 ~2020年12月17日	日本	ハノイ理工科大学 パンドン工科大学 泰日工業大学	電気工学科 ▪学部3年生	 (芝浦工業大学) 学生6名、TA1名、教員1名 (ハノイ理工科大学) 学生4名、教員2名 (バンドン工科大学) 学生4名、教員1名 (泰日工業大学) 教員1名 	藤田 吾郎(電気工学科)

コロナ禍において海外派遣インターンシップ形のgPBLが実施困難である。しかし、協定校との持続的連携を維持する手段も必要であり、HUST ベトナム・ ハノイ理工科大学 およびITB インドネシア・バンドン工科大学 とのオンライン形のgPBLを2020年10~12月に試行実施した。週1回1.5h,計10回のワーク ショップを開催して、前半はキットを用いた制御工学の学習とその進捗状況の確認、後半は本学にある同期発電機実験装置を用いて、良い応答特性を 実現する制御系構築の実習を合同で行った。結果として、参加学生の知識レベルを揃え、また、オンラインでも実験が可能であり、研究室間の交流も深 まった。ただし時間的制約、機器に直接触れられない制約も大きいことが課題である。これらを踏まえ、次回も類似のスタイルで実施したい。テュートリア ルや制御手法、制御評価手法の追加などの、オプションとなるプログラムも検討中である。



図1 同期発電機実験装置を用いた実験

図2 gPBL概要



図3 詳細スケジュール